



STEP WORLD TIMES

フォニックスで遊ぼう!

Let's Play Phonics Games!!



フォニックスとは英語の「音」と「文字」を結びつけるためのルールです(詳しくは、Times129号参照)。フォニックスを知っていると知らない英単語が読めたり、正しい音で発音できたりと、“できる”自信から学習意欲につながるため、特に初期の英語学習者におすすめしたい学習法です。今号では、ステップワールドのフォニックス教材「Phonics Book ①&②」と、それらを使った「おうちでできるフォニックスゲーム」をご紹介します。

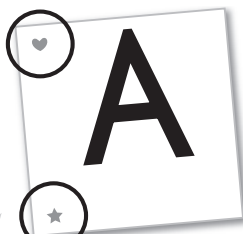
※教材をお持ちでないご家庭でも単品での購入が可能です。各教室へお問い合わせください。

「Phonics Book ①&②」のご紹介

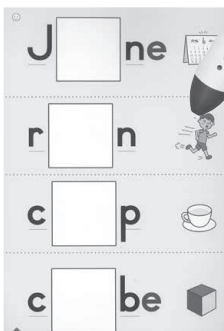
初期英語学習教材「Marble Kids」セットの中の「Phonics Book ①&②」をご紹介します。

フォニックスブック①+アルファベットカード

ブック①ではa~zの各アルファベットの基本的な音(規則音)の練習ができます。イラストを音声ペンでタッチすると単語を読むので、それを聞いて初頭音のカードを推測します。□にアルファベットカードを置いて、単語を完成させ、発音してみましょう。

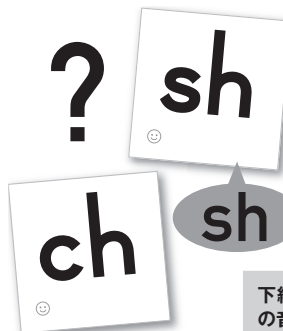


アルファベットカードは♥を音声ペンでタッチするとアルファベットの音が、★をタッチするとフォニックスが聞こえます。

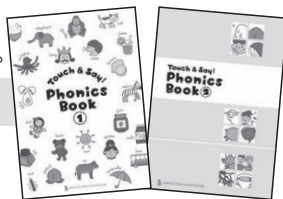


フォニックスブック②+フォニックスカード

Book②では、「th, ch, sh, ow, ph, oo」などの特殊な読み方の音(不規則音)の練習ができます。Book①よりさらに発展させた使い方が可能です。

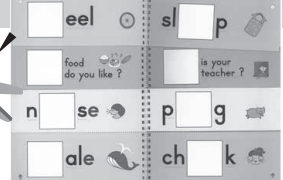


下線の文字ごとにフォニックスの音声を聞くことができます。

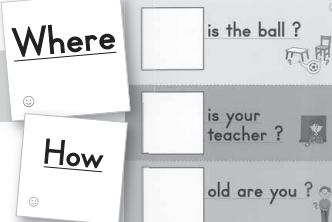


一通り学習を終えたら、点線にそって切り取り、単語の組み合わせを変えたり、同じ音を4つ集めたりしてさらに楽しく学習できます。

イラストをタッチすると単語の音声流れます。



疑問詞も楽しく学習



フォニックスを使って家族で遊ぼう!

<幼児用> 神経衰弱 人数: 2人以上

用意するもの: アルファベットカード(大文字・小文字)
★トランプの神経衰弱と同じ要領で大文字と小文字のマッチングをします。

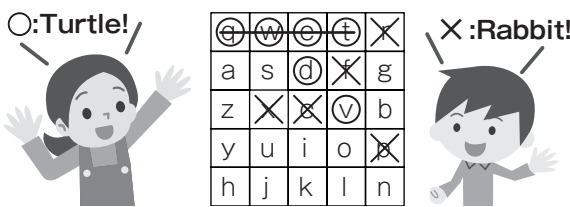


- 1 アルファベットカードをよく交ぜ、裏面にして並べさせる。
- 2 順番を決め、最初の人が好きカードを2枚開く。
⇒その際、開いたカードのアルファベットの初頭音からはじまる単語を必ず言う。
例: C → “cat!”
- 3 マッチングできた場合はその2枚をもらい、さらに2枚カードを開くことができる。
- 4 場にあるアルファベットカードがなくなったら終了。手持ちのカードが一番多い人の勝ち。

※A(a)~L(l)までなど、枚数を減らしてもよい。
※大文字と小文字を分けてカードを並べ、それぞれ1枚ずつ開けるようにしてもよい。
※単語が浮かばない場合は、アルファベットチャートやフォニックスブック等を見てOK!

<小学生用> 四目並べ 人数: 2~3人

用意するもの: 鉛筆、白紙(あらかじめ5×5マスの枠を書いておく)
★○か×を先に4つ並べたほうが勝ち。三目並べのアレンジ形です。



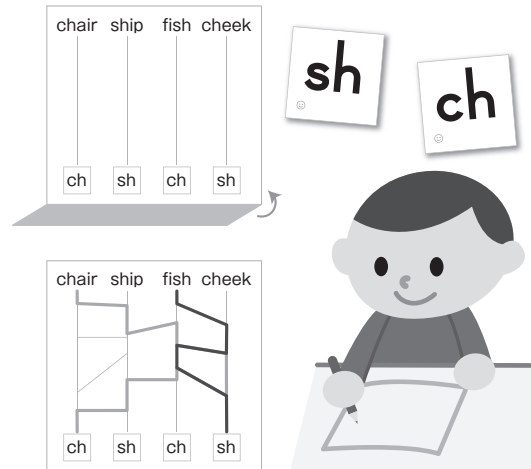
- 1 交互にどのマスでもよいので好きなアルファベット(小文字)を書いていく。ただし、同じアルファベットが2個以上にならないようにする。
※アルファベットを書き込むときには、必ずアルファベットをいうこと。全てのマスにアルファベットを書いたらゲームスタート。
- 2 じゃんけんをして、勝ったほうは先攻で「○」、負けたほうは後攻で「×」となる。
- 3 先攻の人は、好きなアルファベットを選び、アルファベットに○をする。
- 4 このときに、選んだアルファベットの初頭音からはじまる単語を必ず言う。
- 4 攻守を交代して、後攻の人は空いているアルファベットを選び、×をする。
- 5 繰り返し行い、好きなアルファベットをマークしていく。
- 6 自分のマークを先に縦・横・斜めいずれかに4つ並べた方の勝ち。

※3人で行う場合は、○、×、△のマークで行い、縦・横・斜めいずれかにマークを3つ揃えれば勝ちとする。
※簡単バージョン: 3×3マスで行うこともできる。

<小学生用> あみだでマッチングゲーム 人数: 2人以上

用意するもの: 鉛筆、白紙、フォニックスカード、フォニックスブック②

- 1 白紙に人数分の縦線を引く。
- 2 フォニックスブック②(P.1~20)の中から好きなページを1ページ選んで開く。
- 3 縦線の下に②で選んだページに入るフォニックスカードを置き、白紙の下を折って隠す。
- 4 選んだページにある単語を好きな縦線の上に順番に1人ずつ書いていく。
- 5 全員で好きな場所に横線を書き込み、アミダを完成させる。



- 6 順番にアミダを行う。書いた単語のフォニックスカードに到達できた人にはポイント、違う場合は、ノーポイント。
※全員、ノーポイントの場合もある。